

第 61 号

(社)長野県建築士会
諏訪支部

2009.10.1

『今でも活気ある
諏訪にある酒造場の集まり』

国道20号沿線の諏訪、元町に江戸、明治、大正時代に建てられた酒造場が立ち並んでいる。いずれも土蔵造りの醸造蔵を生かし、店の入り口には酒林（杉玉）が飾られ、それぞれ銘酒の銘柄の入った樽、のれんがあり、壁を縦格子や簾の葉でおおい、昔ながらの町並みに訪れた観光客などの興味を集めている。麗人（麗人酒造）眞澄（宮坂醸造）舞姫（舞姫酒造）横笛（伊東酒造）本金（酒ぬのや酒造）と聞き覚えのある銘柄は、いちど入って利き酒などしたくなる、道沿いの町並みである。



平成21年度 長野県建築士会諏訪支部 役員・委員長よりメッセージをいただきました。



支部長あいさつ

建築士会諏訪支部
支部長

笠 原 嘉 久

本年度、建築士会諏訪支部の支部長を務めさせていただることになりました笠原です。

三役に就くのは丸2年ぶりということで、まさに浦島太郎のような心境で戸惑いの毎日です。

かつて孔子が、子曰く「五十にして天命を知る。

六十にして耳順う。」と言いましたが、まさにその間にいる身で、先日まで先輩の後を追っていた私ですが、これも何かの巡り合わせなのでしょうか。

さて、本年度は会員大会が南信ブロック担当で諏訪において開催されます。大会を成功させるには皆様の協力なしでは達成しないと思っております。又現在、建築士会では公益法人制度の改革及び応急危険度判定士の対応など、問題は山積みです。今後皆様のご尽力と協力をいただきながら解決して行きたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。



仲間を増やそう

建築士会諏訪支部
副支部長

大 井 一 美

前期に引き続き副支部長を仰せ付かりました。
どうぞよろしくお願い致します。

現在諏訪支部に限らず、他のほとんどの支部において会員数が減少傾向にあります。その反面、建築基準法の改正・建築士法の改正等があり、建築士としての義務・責任が増大し、建築士会としての役割が大きくなってきてているといえます。

最近少しづつではありますが「建築士会に入っ

ていないとほとんど情報がなくよく分らないから入会した方がいいかな。」という声を聞くようになりました。会員の皆さんも是非お知り合いのこういう方々に声を掛けていただき、私たちの仲間を増やしていくっていただきたいと思います。

建築士会の課題として、新しい公益法人制度が施行され、(社)長野県建築士会も平成25年までに「公益社団法人」になるか、「一般社団法人」になるかの選択を迫られています。

この制度の変更により、これから建築士会のあり方、運営方法が全く変わってしまう可能性があります。この件につきましては会員の方々のご意見をよく聞きながら進めていきたいと思いますので、皆さんのご意見をよろしくお願い致します。





副支部長に就いて

建築士会諏訪支部

副支部長

西 村 厚 志

二期連続の副支部長をお引き受けさせて頂きました。実を申せばその他多くの組織で要職を受けなければならぬ状況下で固辞をして参りましたが、支部長からの強力なお願いをされお引き受けする事になった訳です。いつもそうなのですが、お受けするからには「精一杯務める」事を私は信条としています。しかし、4月から始まった新年度も5ヶ月が経過しようとしている今日、多少無理が生じ、多方面にご迷惑を掛けているのではと心苦しく思う事が度々あります。何とかこの一年乗り切れれば……との思いで鞭を当てながら頑張る所存です。

さて、建築士を取り巻く環境について大きく様変わりしています。資格の持つ意味は今も昔も変わりはありませんが、かの耐震偽装事件を発端に、社会の認知度が良い意味で増したのではないかと思います。言い換えれば、建築士とはそれだけ重要な、生命に関わる職業であると言う事を改めて

自覚させられました。今まで安易に仕事をして来たとは申しませんが、更なる自己研鑽、研修を重ね世間の期待に応えていかなければならないと思います。是非会員の皆様には、そのひとつの手段としてこの建築士会を十分活用して頂きたいと考えます。人々の生活の拠点となる「最良の住環境の構築」という共通目的を仲間同士、刺激し合いながら切磋琢磨し、より良い方向へ進んで行ければ幸いと思います。

建築士会は「苦労ばかりで大変だ。」「取っ付きにくく参加し難い。」「誰かがやってくれるから私が出なくても良いんじゃないの。」等いろいろな声を聞く事もあります。そんな雰囲気がある事も事実でしょう。しかし、まず参加をしてみて下さい。取り敢えず総会や新年会は絶好の機会と捉えて、語り合ってみませんか。同じ悩みや課題を抱えている事が判るはずです。しかし、話す事だけで解決はしません。少しでも参考になることがあるはずです。そんなことを繰り返す中から建築士会に積極的に参画し、意見を述べ、活動に参加してみたいという気持ちになって頂けたら大変嬉しく思います。

今期、役員を始め会員の皆様には大変お世話になりますが2年間どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



更なる技術向上

建築士会諏訪支部

副支部長

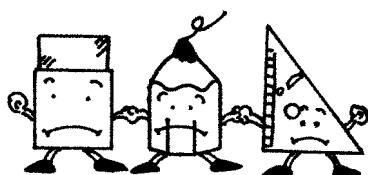
氣賀沢 伸一

このところ「建築士定期講習」「管理建築士講習」と義務付けられ「長期優良住宅に関する技術講習」さらに「技術力向上支援講習」と講習が目白押しだ。技術向上のためには必要かと受講している。そんな時、その講習の主催、協力に一般社団法人〇〇協会、財団法人〇〇などたくさんの名前がでてくると技術向上より法人数を増やすためではないのかと思ってしまう今日この頃です。

話は変わって、今後、国交省の住宅整備方針は新築からリフォームに重点に置くようですね。中

古住宅を流動化させて行くようですが、増築、リフォームの依頼を受け現場を見ると昔はこんな施工をしていたのかと驚くことがいっぱい出てくる。換気扇を取り付けるために筋かいが切られていたり、図面通りに入っていないことがざらにあるし、断熱材は隙間だらけなんて目のあたりにすると健全な中古住宅はどのくらいあるのかと心配になってしまいます。

現在ではこんなことはないでしょうが、建築士会会員の更なる技術力向上は必要になると思います。そうなると講習会かと話が前に戻ってしましましたが、自己研鑽でがんばりましょう。





建築士免許証の 携帯型への変更案内

総務委員会
委員長

深沢 幸司

改正建築士法の施行により、重要事項等の説明の際には、免許証又は携帯型免許証明書を提示する事とされています。又、従来長野県下各地方事務所で行っていた建築士免許登録受付が長野県建築士会（長野市）1ヶ所となりました。

長野県建築士会では、広大な長野県の地域の特殊性を考慮し、要望に応じ建築士登録事務の各支

部への出張受付及び出張交付を行っています。

この事から、諏訪支部も長野県建築士会に出張受付を御願いし日程の検討をしているところです。日程が決まりましたら、詳細内容を会誌に差込み、諏訪支部HPにも掲載して皆様にお知らせします。

(諏訪支部HP <http://www.arcasuwa.com/>)

建築士法

第24条の7 第2項

管理建築士等は、前項の説明をするときは、当該建築主に対し、1級建築士免許証、2級建築士免許証若しくは木造建築士免許証又は1級建築士免許証明書、2級建築士免許証明書若しくは木造建築士免許証明書を提示しなければならない。



これから の活動について

教育委員会
委員長

笠原 誠爾

今年度より教育委員長を務めさせて頂きます岡谷地区の笠原と言います。

私自身建築士会活動に於いては、5年程前に地区理事をさせて頂きましたが、その際には現場仕事の忙しさにかまけ、あまり理事会にも出席でき

ず、当時の理事の皆様にはご迷惑をお掛けしていました。

今回委員長をお引き受けすることとなりましたので、前回の理事の時のようにならないよう、どれだけのことが出来るかわかりませんが、会員の皆様のご意見、ご希望をお聞きし、出来るだけ多くの会員の方が参加できるような講習会、勉強会等を実施していくべきだと思っています。これからの教育委員会活動が会員の皆様の継続教育活動(CPD)、意識向上、技術向上又法改正の説明などの場として有意義なものであればと思っています。



「エコ、省エネ」

情報・広報委員会
委員長

中澤 良一

地球温暖化にそれが原因と思われる天候不順によって起こる災害で、「どこかがおかしい」と思い始め、多くの人が「エコ」「省エネ」に目覚め、暮らしの中で注意をはらう様になりました。又、暮らし方にも工夫をする様になってきました。環境負荷の低減を図るため、エコポイント、エコカー減税・補助金制度等が開始され、(景気対策の意

味もありますが)一般の方もますます関心が深くなっています。業界では、エネルギー消費を減らすために、長期優良住宅に関する制度、住宅・建築物省CO₂推進モデル事業が始まり、国土交通省による省エネに対する補助金・「エコキュート」「太陽光発電システム」等への補助金など、多くの制度があり、すべてを理解するのには相当量の学習が必要と思われます。それらの情報はこちらから求めないと、なかなか得られないのが現状です。士会でも、賢く制度を利用するため、是非講習会や勉強会を開いていただくと助かります。ご検討を宜しくお願い致します。情報・広報委員会でもそんな内容の特集を組めればと思っています。



民家の不思議

まちづくり委員会
委員長

吉川 宏

昨日、茅野の民家の特徴と謎と題した藤森照信先生の講演を聴いてきました。

尖り石（与助尾根）の堅穴式住居の復元住居の写真と米沢の茅葺きの萩屋の写真がスクリーに映し出され、茅野の民家は日本の伝統を伝えていると言われ二枚の写真のイメージが見事に重なるのに驚かされました。ともに登り梁の合掌構造であり、復元住居を見ると縄文時代も今もさほど変わらない様でした。

また、先生の話が進んで行く中で堅穴式住居の屋根は茅葺きでなく土葺きだった可能性が有る。屋根の勾配はずっとゆるく土葺きの上には草が生えていたと言うのです。その後屋根が茅等で葺かれるようになり、屋根に生えていた草が土葺き屋根の名残で棟に植物を生やす芝棟として伝わったのではないか、芝棟の様な意味の分からぬ物ほど後世に残るものだと言つてました。私もなぜ棟に植物を生やすのか以前からずっと不思議に思つていました。これですっきりとまではいきませんがさっぱりとした気分になれました。

藤森先生の講演会の後、市民館を出る人込みの中で与助尾根の復元住居の屋根も芝棟にして、花を咲かせてみたいと思いました。タンポポではないですけど。



事業計画について

HP管理委員会
委員長

水上 長男

コンピューターは今や、仕事や生活に欠かせない物になりました。朝仕事場に着くと、電子メールの確認をする事から一日が始まり、図面をCADで描き、メールで連絡事項や写真と共に送信する。欲しい情報は、とりあえずインターネットで調べ、分からぬことがあれば、やはりメールで情報をやり取りします。

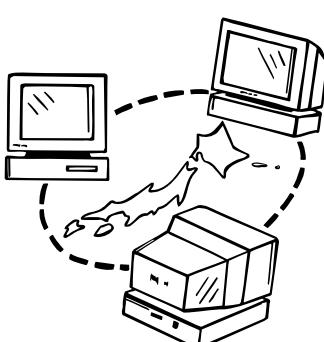
建物をこれから建てようとする人も同様に、インターネットで建築関連のホームページ（HP）

を検索し、情報を得ようとする人はかなり多いのではないでしょうか。

そこで、本年度のHP管理委員会では、建築士会諏訪支部のホームページを会員・賛助会員の皆様に有効に活用して頂くために、

- ①支部の行事日程や実施報告、また講習会や法律の改正等の情報を最新版に更新し、又希望者にそれらの情報を電子メールで配信する事業
- ②会員の仕事の受注につなげられるような、支部ホームページの検討
- ③ホームページ（ブログ）、パソコン関連の講習会の開催

等を計画しています。皆様方のご参加、ご協力をお願い致します。





子供たちの プレカット工場見学

青年委員長
(本会=青年・女性)

伊 藤 淳

現在建てさせて頂いている建物、お施主様には3名のお子さんがいらっしゃいます。ちょうど夏休みに入ったので、プレカット工場を見学させて頂くことにしました。

家づくりには、現場以外にもいろいろな仕事があり、たくさんの人たちが関わっている事を知つて欲しかったからです。まして、自分の家を建て替えるなどというチャンスはめったにありません。私も建築士として少し「ずく」を出してみました。

さて、工場に着くと広い敷地には、コンピュータで動く大きな機械や、材木を乾燥させる窯がいくつもあり、稼働音のする中、大勢の方が働いて

いました。

大きな原木や、加工されて山と積まれた材料に圧倒され、樹種によって違う木の匂いも経験しました。

普段なら絶対に見ることのない家の建つ課程の一端を、じっくり見学でき、子供達にとっては大変勉強になったことでしょう。もちろん、夏休みの宿題にまとめる予定です。



どろだんご

CPD 委員会
委員長

東 山 優

子ども達が夏休みに入り、どんな宿題があるのかとプリントをながめていると“どろだんご”とありました。数ヶ月前、教育テレビでやっていたのを思い出し、一緒に作ってみることにしました。

まずは土を用意（赤土を使ってみました）、水を混ぜ、適当な大きさ（手で持てる範囲）のだんごを数個作り、いくらか乾いた所でジャムの空き瓶の上にのせてくるくるとだんごを回し続けると、何と限りなく球形に近い土の球へと変わっていき

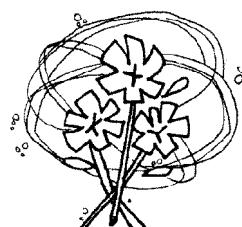
ました。

さらに一日乾かし同じように瓶の上で回す。その作業を数回重ねるとツルツルピカピカの土の球の完成です。すでにご存知の方もいらっしゃると思いますが、私にとっては驚きの“どろだんご”でした。

インターネットで検索してみると検索件数はなんと 217,000 件。“どろだんご”の人気の高さに再び驚きました。

子どもの頃に感じたモノづくりの楽しさや、大工になりたての頃に初めて加工した柱や梁が組みあがって行った時の嬉しさ、そんな思いを再び感じさせてくれた“どろだんご”でした。

忘れていた（？）モノづくりの楽しさ、初心に帰って今後の仕事に取り組もうと思う今日この頃です。



平成21・22年度 長野県建築士会諏訪支部委員会構成

○常任理事 ●地区理事長 ◆委員会理事 ◇理事外会員

総務委員会（本会 総務・情報）（大井）			
委員長	岡 谷	深 沢	幸 司
副委員長	諫 訪	吉 澤	美樹郎
委 員	岡 谷	矢 島	雄 一
	諫 訪	伊 藤	信 治
	茅 野	長 田	章 弘
本 会	岡 谷	大 井	一 美

教育委員会（本会 建築活動）（氣賀沢）			
委員長	岡 谷	笠 原 誠 爾	
副委員長	下 謙 訪	船 坂 俊 彦	
委 員	諷 訪	松 下 稔	
	茅 野	柳 平 昌 志	
	富士見原	植 松 秋 和	
	岡 谷	中 山 賢 嗣	○
本 会	諷 訪	氣賀沢 伸 一	

事業委員会				(西村)
委員長	茅野	野澤孝博		
副委員長	諏訪	中村直		
委員	岡谷	宮澤正輝		
	下諏訪	中平光廣		●
	諏訪	北原孝生		
	茅野	梶原洋		
	富士見原	久保田康彦		●

まちづくり委員会（本会 社会貢献）（笠原）			
委員長	茅野	吉川 宏	○
副委員長	諫訪	赤澤 深志	●
委 員	岡 谷 深沢 幸司		○
	岡 谷 浜 一 平		◇
	岡 谷 清 水 麗 嘉		◇
	岡 谷 窪 寺 弘 行		◇
下諫訪	田 村 慎 一		◇
諫 訪	気賀沢 伸 一		
諫 訪	五 味 光 一		◇
茅 野	村 松 健 敏		◇
茅 野	太 田 清 人		◇
富士見原	両 角 修 次		◇
富士見原	笠 原 嘉 久		
本 会	諫 訪	赤 泽 深 志	●

青年委員会（本会 青年・女性）（気賀沢）			
委員長	下諏訪	伊藤淳	○
副委員長	下諏訪	立木雅昌	○
委員	茅野	吉川宏	○
	諏訪	吉澤美樹郎	○
	茅野	宮坂佐知子	◇
	諏訪	吉澤さつき	◇
	茅野	牛山和利	◇
	諏訪	中村直	
	下諏訪	青木賢一郎	
	下諏訪	瀧脇匠	
本会	下諏訪	立木雅昌	○

HP管理委員会		(大井)	
委員長	岡 谷	水 上	長 男
副委員長	下 諏 訪	田 村	慎 一
委 員	総 務	矢 島	雄 一
	教 育	植 松	秋 和
	事 業	宮 澤	正 輝
	情報・広報	河 瀬	清 隆
	まちづくり	田 村	慎 一
	青 年	伊 藤	淳
	C P D	青 木	賢一郎
管理責任者	下 諏 訪	伊 藤	淳

C P D 運営委員会				(西村)
(本会 CPD 制度・専攻建築士制度運営)				
委員長	富士見原	東山	優	○
副委員長				
委員	岡 谷	矢 崎 和 夫		●
	下 謙 訪	青 木 賢一郎		
	茅 野	両 角 通 夫		
	岡 谷	向 山 淳		◇
本 会	富士見原	東 山	優	○

表彰委員会		(笠原)
委員長	支部長	笠原嘉久
副委員長		
委員	三役	
	常任理事	

役員選考委員会		(笠原)
委員長		太田清人
副委員長		
委員	常任理事	
	地区理事長	
	評議員	

《本会役員》			
副会長	茅野	春間	好也
評議員	岡谷	浜	一平
評議員	下諏訪	山本	幸治
評議員	茅野	太田	清人
評議員	諏訪	小林	雅
理事	芝	笠原	喜久

〈建 築 指 導 員〉			
岡 谷 地 区	矢 崎 和 夫	茅 野 地 区	野 澤 孝 博
	水 上 長 男		両 角 通 夫
下 諏 訪 地 区	蟹 澤 正 巳	富 士 見 原 地 区	植 松 秋 和
	氣 賀 沢 伸 一		河 瀬 清 隆
諏 訪 地 区	吉 沢 さつき		

《本会委員会》	
資格委員会	西村厚志
組織運営特別	大井一美
信州木造塾	中山賢嗣 ブロック
景観整備機構	ブロック
地域貢献センター	ブロック

諏訪地方事務所、市町村担当窓口に 新しく着任した方から諏訪支部に メッセージを頂きました。



よろしく
お願い致します

諏訪地方事務所
建築課長

岩田 隆広

本年4月に諏訪地方事務所建築課長に着任いたしました。よろしくお願い致します。

さて、着任して早や5ヶ月が過ぎようとしております。県職員として30年目となりましたが、諏訪地域は初めての勤務となりました。前任地では構造計算書偽装問題に対応した改正建築基準法や建築土法の対応に追われておりました。その際には貴会や建築関係団体の皆様に多大な御協力を

賜り御礼申し上げます。また改正法令の周知期間が十分でなく、関係各位に負担をお掛けしたこと反省しております。

昨年来百年に一度の経済危機により建築関係業界においても厳しい状況が続いているところですが、昨今の建築物に対するニーズはより消費者の利益を保護し、環境に配慮した建築物への対応が求められていると認識しております。また、県では住宅・建築物の耐震診断・改修を促進するため市町村と協働して補助事業を継続するとともに、公共施設の耐震化工事を進めているところです。いずれの事業も貴会の皆様方のお力添えが不可欠ですので、今後とも御協力いただきますようお願い申し上げます。



新任のご挨拶

諏訪地方事務所
建築課長補佐 兼 建築係長

小林 弘幸

4月の異動でまいりました小林です。ご当地は平成9年から4年間お世話になりました、歳だけ取ってまた帰ってまいりました。当時お世話になりました皆様も、お顔を拝見するにそれぞれにお元気で御活躍の御様子で、嬉しい限りです。

この10年程の間に管内の新設住宅着工戸数も半分程度にまで落ち込み、またものづくりには本来適正な価格があることを社会が忘れてしまったかのような価格競争に住いづくりまでがさらされ、本当に厳しい時代ですが、一方で検査で現場を廻りますと、造り手の熱意やこだわりが伝わってくるような素敵なお住いに多く出会うことが出来て、

嬉しくなるとともに頑張っている皆さんには頭が下がる思いです。この10年の間に住いづくりも随分変わったように思います。次代のベクトルは良好なストックとしての質の高い住い、環境と共生するエコ住宅?とも思いますが、ある意味、住いがどんどん人に近づいているのではとも思っております。

今後も、防災や景観、まちづくりなど建築士の社会的な役割や責務は益々大きくなっています。微力ではございますが少しでも皆様のお役にたてるべく勤めてまいる所存でございますので今後とも宜しくお願ひ申し上げます。





はじめまして

諏訪地方事務所
建築課技師

山 崎 拓

4月より、新規採用職員として諏訪地方事務所建築課に配属となりました山崎拓です。建築係として富士見町、原村を担当しています。

3月までは、東京の民間企業で、CM（コンストラクション・マネジメント）業務やマンション建替えのコンサルタント業務等をしておりました。建築係の仕事は同じ建築とはいえ、全く違う仕事なので、ゼロからのスタートです。そのため、皆

様にご不便やご迷惑をお掛けしておりますが、早く仕事に慣れるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

出身は小諸市ですが、大学入学より長野県を離れており、長野県で生活するのは十数年ぶりとなります。諏訪は花火観賞等で数回来たことがありますが、知らないことばかりです。毎日の生活でも新しい発見をしております。

諏訪地域は水害、地震など、県内でも自然災害の被害を受けやすい地域ですので、住民の皆様が安心して暮らせるために「建築」ができる事を、微力ながら皆様と共に考え、実行していきたいと思います。

今後ともご指導、ご協力をよろしくお願ひ致します



新任のご挨拶

諏訪地方事務所
建築課主事

惣 田 和 子

8月10日より建築課にお世話になっております惣田と申します。今年の3月まで4年間、諏訪地方事務所税務課におりました。家が松本なので、最初の2年間通勤が大変でした。と言うのも、塩

尻峠を越えて来ていましたので……でも後の2年は、高速の味を覚えてしまい毎日高速になってしまいました。

老化が進み、モタついたり覚えが悪かったりで、建築課の皆さんにはご迷惑をおかけしているところです。足手まといにならないよう努めたいと思いますのでよろしくお願ひします。



市役所職員としての意気込み

岡谷市役所建設水道部
都市計画課 建築担当

花 岡 雄 太

4月から岡谷市役所で勤務をしております花岡雄太です。大学では建築学を専攻してきました。そもそも建築を志したきっかけは、幼い頃から絵を描くことや工作が好きで、それが残せるような仕事に就きたいという思いからです。

実際に建築について、勉強をしてみると『建築は雑学の集大成』と言う言葉があるくらい、奥の

深い学問であることを知りました。一つの建築物を作り出す過程で、施工者、設計者、現場を動かす監督、職人さん等、多くの人々が関わりながら作られており、建築は長いスパンで物事が考えられていることにこの分野の奥深さを感じました。

市役所に入所し現在は確認申請等の業務に携わらせていただいているが、市役所に提出される申請書類を見ると、そこに住むお施工さんの思いなどが画面から伝わってきます。家を建てることはとても大きなことだと思いますので、安心した暮らしを送れるようにしっかりと業務を行なながら頑張っていきたいです。まだまだ仕事を始めたばかりでご迷惑をおかけしますがよろしくお願ひ致します。



よろしく お願ひします

下諏訪町役場
建設水道課長

林 卓郎

今年度4月1日付の人事異動で、建設水道課長となりました林と申します。どうぞよろしくお願ひします。

建築関係の事務経験というと、今から30年ぐらい前に窓口担当として、都市計画事務とともに携わっておりました。その時の業務として、第1回目の用途地域の変更と都市計画特別工業地区の新設が思い出に残っており、貴重な行政経験となりました。

下諏訪町では、「下諏訪町歴史的風致維持向上計画」の事業の一つとして位置付けている景観計画を、平成21～22年度にかけて策定し、景観形成を推進してまいります。その中で、専門的知識者としての建築士会の皆様のご助言やご提言を、頂ければありがたいと思っています。

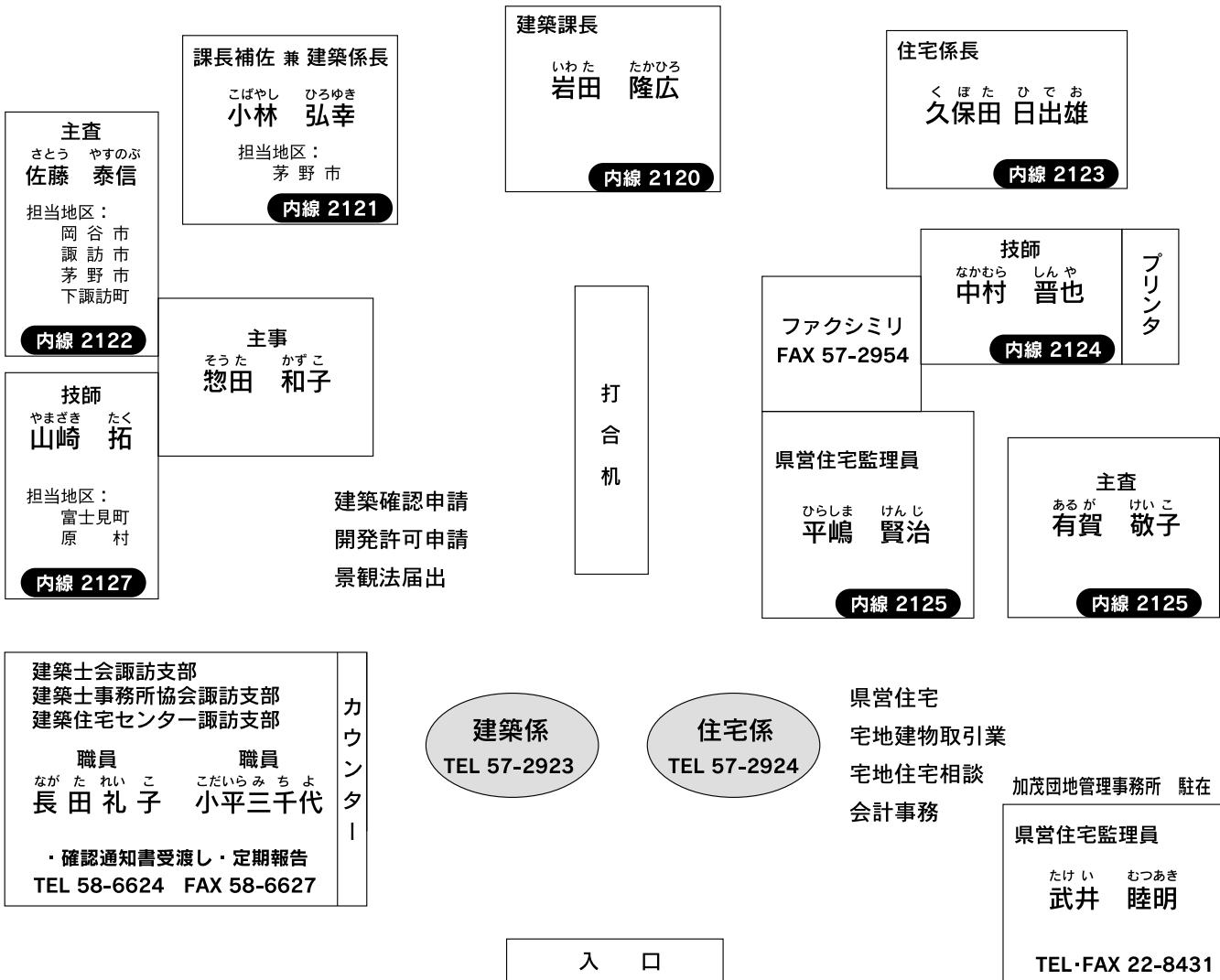
今後とも、当町のまちづくり行政に、ご協力やご指導の程よろしくお願ひいたします。



平成21・22年度 長野県建築士会諏訪支部役員名簿

役 職		氏 名		役 職		氏 名	
岡谷地区	支 部 長	笠 原 嘉 久		諏訪地区	理 事	松 下 稔	
	副 支 部 長	大 井 一 美			理 事	中 村 直	
	副 支 部 長	西 村 厚 志			常 任 理 事	吉 沢 美 樹 郎	
	副 支 部 長	気 賀 沢 伸 一			理 事	野 澤 孝 博	
	理 事	小 松 恵 子			理 事	両 角 通 夫	
	理 事	笠 原 誠 爾			理 事	中 澤 良 一	
	理 事	矢 島 雄 一			理 事	梶 原 洋	
	理 事	矢 崎 和 夫			理 事	柳 平 昌 志	
下諏訪地区	理 事	宮 澤 正 輝			理 事	長 田 章 弘	
	理 事	水 上 長 男			常 任 理 事	吉 川 宏	
	常 任 理 事	深 澤 幸 司			理 事	久 保 田 康 彦	
	常 任 理 事	中 山 賢 嗣			理 事	植 松 秋 和	
	理 事	中 平 光 廣			理 事	河 瀬 清 隆	
	理 事	船 坂 俊 彦			常 任 理 事	東 山 優	
	理 事	青 木 賢 一 郎			監 督	石 田 隆 男	
	理 事	瀧 脇 匠			監 督	小 林 寛	
諏訪地区	常 任 理 事	伊 藤 淳			顧 問	山 本 幸 治	
	常 任 理 事	立 木 雅 昌			顧 問	太 田 清 人	
	理 事	赤 澤 深 志			相 談 役	岩 田 隆 広	
	理 事	伊 藤 信 治			参 与	小 林 弘 幸	
	理 事	気 賀 沢 伸 一			参 与	高 橋 一 博	
	理 事	北 原 孝 生			参 与	川 上 秀 樹	
	理 事	堤 隆 佳			事 務 局	小 平 三 千 代	

建築課職員配置図



6市町村 建築相談・建築指導窓口案内

市町村名	担当課	担当窓口	TEL	内線
岡谷市	都市計画課	建築指導係	0266-23-4811	1372~1375
下諏訪町	建設水道課	建築係	0266-27-1111	243
諏訪市	都市計画課	建築住宅係	0266-52-4141	269
茅野市	都市計画課	建築係	0266-72-2101	534・535
原村	建設水道課	環境係	0266-79-7933	左記ダイレクトイン
富士見町	建設課	都市計画管理係	0266-62-9217	左記ダイレクトイン

平成 21 年度 建築士会諏訪支部主行事

行 事 名	日 時 ・ 会 場	備 考
南信三郡連絡協議会	10月8日(木)頃 当番 諏訪支部	
第3回違反建築パトロール	10月16日(木)頃 市町村	
第4回理事会	11月5日(木) 18:30～ 諏訪市 公民館	
くらフォーラム IN 八ヶ岳	11月7日(土)・8日(日) 13:00～16:30 茅野市役所議会棟大会議室	土会諏訪支部協賛
会員大会	11月21日(土) 諏訪市	本会行事
合同三役会	11月26日(木)頃 諏訪合同庁舎会議室	議題 新年会等
表彰委員会	12月1日(火) 18:00～18:30 諏訪市公民館	新年会表彰者選定
第5回理事会	12月1日(火) 18:30～ 諏訪市 公民館	
第4回違反建築パトロール	12月17日(木)頃 市町村	
第6回理事会	1月14日(木)頃	
合同新年会	1月14日(木)頃	進行事協
二級建築士免許交付式	2月中旬 諏訪合同庁舎会議室	21年度より土会主催
第5回違反建築パトロール	2月18日(木)頃 市町村	
第7回理事会	3月16日(火) 18:30～ 諏訪市 公民館	
会計監査	4月6日(火) 14:00～ 諏訪合同庁舎会議室	
第8回理事会	4月22日(木)頃	
諏訪支部通常総会合同懇親会	4月22日(木)頃	懇親会進行土会



ご案内

第4回会員大会が諏訪地区にて開催されます。 ぜひ、参加しましょう！

◆大会へのいざない◆ 湖～御柱～温泉「諏訪市」

諏訪はかつては城下町、甲州街道の宿場町として栄ました。近年は製糸業の町、現在では精密機械産業の町として繁栄しています。今年は来年行われる7年に一度の大祭・御柱祭の準備に忙しい毎日です。建築に携わる皆さんにとっては、諏訪といえば諏訪大社。全国に一万余の末社が在るといわれる上社・下社を訪ねて諏訪信仰の深さと建築のすばらしさを体感しましょう。諏訪の街のなかには諏訪大社を造った立川流・大隈流の大工の集団が造った神社がたくさんありますので、この建築も見逃せません。文化都市諏訪には美術館がたくさんあります。建物と展示されている美術品を堪能しましょう。さらに伝統の酒蔵の「施設見学」や街並み探偵団をしてみましょう。「見て」、「学んで」、「体験して」、魅力いっぱいの諏訪へ、多くの皆様の参加をお待ちしております。

◆大会概要◆

テーマ 「木・水・人々」

メイン会場 諏訪市文化センター(総合案内所) 諏訪市湖岸通り5-12-18 TEL.0266-58-4807

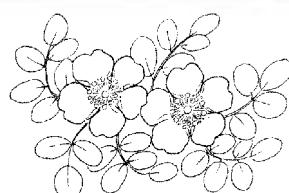
期日 平成21年11月21日(土)

主催 社団法人長野県建築士会 / 協力 南信ブロック各支部

申込締切 平成21年10月9日(金)までに、支部事務局又は本会へ参加料金を添えてお申ください。

■大会スケジュール

区分	時間	開　催　事　業		
受付	05:30-06:30	会員行事・午前の部受付	諏訪市文化センター　ロビー	
	06:30-09:45	会員大会セレモニー	諏訪市文化センター　ホール	
開会行事	県内の建築士を目指す学生によるアイデアコンテスト エントリーフォーム 第2回清水慎造ECOコンテスト テーマ：地域ふれあいの小公園(グリーンパーク)の提案発表			
	09:45-10:00	諏訪の信仰と御柱(立川第一大御柱についても説明があります。) 講師：竹村英幸先生		
午前 の部	10:45-11:10	ECOコンテスト 表彰式		
	11:45-12:00	昼　食		
受付	12:45-13:30	会員行事・午後の部受付	諏訪市文化センター　ロビー	
	13:00-14:30	御柱祭 体験	ロード・諏訪大社見学(90名)	
午後 の部	13:50-14:50	諏訪市文化センター前(バス移動) 1.上り(本宮→前宮) 2.下り(秋宮→春宮)	14:00-15:00　午　食　会	
	13:00-14:30	15:10-16:30 サンリノ田畠美術館見学 七澤美術館見学	15:10-16:10 手長神社見学(立川流) 八剣神社見学(立川流) 16:10-17:00 直蔵散策	
受付	17:00-17:30	懇親会会場へ移動	懇親会会場へ移動	
	17:00-19:30	上御跡温泉：湯の湯懇親会場 コンペティションホール	懇親会会場へ移動	
会期終了				



夏休み木工教室 2009

今年も8月9日(日)、多数の参加者にて恒例の「夏休み木工教室」が盛況に行われました。



開催日 平成21年8月9日(日)
会場 岡谷会場 長野県男仕共同参画センター「あいとひあ」
茅野会場 茅野市運動公園時計台広場
参加者 岡谷会場 26組65名
茅野会場 22組50名
合計 115名の親子の参加がありました。

岡谷会場



参加した建築士会メンバー



受付風景



何をつくっているのかな!!



真剣・真剣・真剣



茅野会場



受付風景



のこぎりがうまく使えるかな



いろんな工具を使って親子が協力



お母さんうまくおさえてよ

活動・行事報告

平成21年度 通常総会

2009年4月24日



RAKO華乃井ホテルにおいて平成21年度の通常総会が行われました。前年度事業報告・決算報告と新年度の事業計画、予算案を議決しました。

また役員改選にともない、新支部長に笠原嘉久氏が推薦され、承認されました。

同時に地区理事も刷新されました。

本年度より予算に余裕が出来たので、更なる活動が出来そうです。

関東甲信越建設士会ブロック会 青年建築士協議会《埼玉大会》

2009年6月15日

通称「関ブロ」と呼んでいますが、年に一度、関東甲信越の若手建築士が集まり、日々の活動を報告し合ったり、話し合ったりする場です。今年は「ラフレシアいたま」を会場に開催されました。

内容は以下の通り。

テーマ：『創造～青年建築士の夢（ゆめ）彩（いろ）～』
第一分科会 「地域における建築士」～地域性を生かした街づくり
第二分科会 「これからの建築士」～建築士・青年の主張
第三分科会 「建築士法改正の動向と、住宅瑕疵担保制度の実施に向けて」
第四分科会 「身近な建築士」～一般参加型セミナー



災害訓練・応急危険度判定訓練《茅野》

2009年9月6日



受付風景



検討会

茅野市防災訓練「応急危険度判定訓練」へ参加協力

開催日 平成21年9月6日(日)

会 場 茅野市立長峰中学

防災訓練の項目に、避難所となる施設の安全性を確認する訓練の、応急危険度模擬判定訓練に参加協力致しました。

建築士会諏訪支部は、2008年11月25日茅野市を除く5市町村と災害時協定を締結しました。

(茅野市は2006年2月に締結済です。)

H21 まちづくり委員会研修旅行記

今年は群馬・栃木の近代化遺産をめぐる旅と銘打って、9月11日・12日の日程で研修してきました。主な見学場所は富岡製糸場と周辺のまちづくり、織物の街桐生市の近代化遺産を生かしたまちづくり、栃木市巴波周辺の川辺と蔵のまちづくり、大谷町の大谷石地下採掘場跡地、それに馬頭広重美術館と石の美術館の隈研吾の仕事2題。

盛りだくさんの見学先を楽しく回っていました。



富岡1 参加者集合写真 富岡製糸場にて



富岡2 地元の高校生に依る空き地を利用したポケットパーク



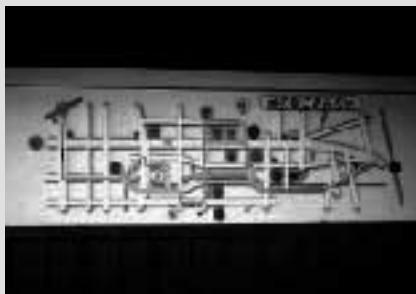
桐生1 のこぎり屋根の工場をレストランに改修



桐生2 多くの学生がデザインした竹垣を地元の造園屋さんが作成し展示



栃木1 川面の風景とサイン看板



栃木2 こて絵風の案内板



栃木3 電線地中化に依るトタンス.Identity and Information Board



馬頭広重美術館にてティータイム



既存の石蔵と地元の芦野石を使った石の美術館

それぞれのまちづくりをディテールで振り返ってみました 吉川 一久

編集後記

機関誌「はらから」第61号の発行に際し、会員並びに地方事務所及び各市町村窓口の皆様には、ご理解とご協力を賜り、情報・広報委員会よりお礼と感謝を申し上げます。

本誌も第61号を数え、今まで多くの方々に支えられてここまできましたが、情報・広報委員会・事務局一同、

力を合わせて努力していきますので、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。

後になりましたが、原稿依頼を快く受けていただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

情報・広報委員会 中澤 良一

■発行者 (社)長野県建築士会諏訪支部・諏訪地方事務所内 TEL0266-58-6624 〒395-0021

■編集責任者 中澤 良一・瀧脇 匠・小松 恵子・堤 隆佳・河瀬 清隆・大井 一美・平林 治

この用紙は古紙 100%再生紙を使用しています。